

事故を予測 発生前に突き止める



全米安全評議会（NSC）
最高経営責任者（CEO）

ロレイン・
マーティン

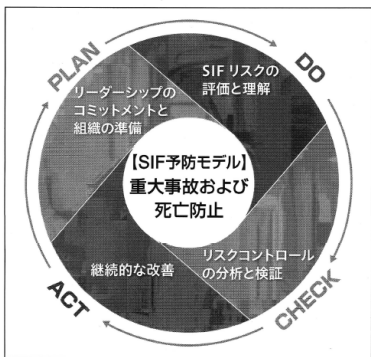
米空軍、ロッキード・マーティンを経て、35年に及び航空宇宙分野でのキャリアを積む。人々が職場を含むあらゆる場面で充実した人生を送れるよう情熱を注いでいる。

7月、GISHW Global Initiative for Safety, Health & Well-being at Expo2025 and Beyondに

参加する。初めて大阪と万国博覧会を訪れるという貴重な機会を得た。世界中の企業、政府、安全分野のリーダーと学び、語り合う得難い経験をした。まさに千載一遇の機会であった。特に、働く人の安全ウェルビーイングへの情熱を同じくするGISHWという国際ネットワークに深い感銘を受けた。私がレップを務める全米安全評議会NSCは、働くおよび顧客の安全を守る活動を行う非営利団体で、多くのパートナーとの協力を通じ、職場からあらゆる場面までの手防可能な事故や死亡の撲滅を目的に、最良の訓練リソース、政策を提供している。独立した非営利団体だからこそ、NSCは利害に縛られず、命を救う使命に専らできる。これは働く人の安全を自己目標に掲げられる特別な立場と云える。大阪滞在で、安全分野が進化と再定義の時期にあるという声を多く耳にした。

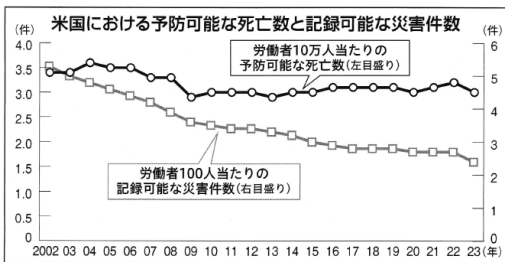
職場の高リスク洗い出し

新技術、革新、経営理念などが従来の考え方に置き換わり、企業をより強く、多くの命を救うことにつながっている。その出発点は重大災害、死亡災害（SID）の予防だ。長年、多くの企業は事故発生率や、事故後の様々な指標を導出したが、SIF予防モデルがこの事後的な安全の見方を覆すものだ。起きた事を数えるのではなく、先発的かつ予防的アプローチが必要である。次の事故がどこで起きるかを突き止めることで、発生前に、あるいは働く人への被害が及ぶ前に防止が可能になる。働く人を危険にさらさないように、NSCが丸ごとつな職場の高リスク要因を洗い出し、重要な対策が適切に機能していることを確認する。多くの場合、リスクを最も多く見つける所は、働く人目が見えていない。そうではない。人とエネルギー、動力、が接する場所を見ればよい。人目常駐の箇所を見る最も危険なリスクは、重力、電力、化学反応、運動といったエネルギーの暴走である。機械との接触、高所作業、車両運転などだ。



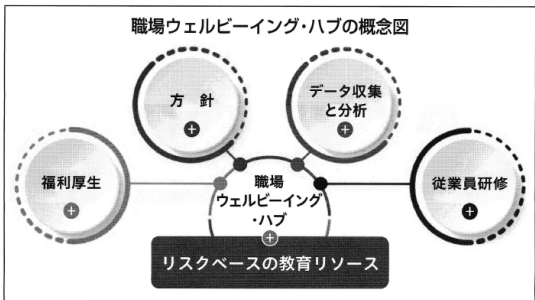
安全分野、進化と再定義

管理者は非難ではなく思いやりを



このような危険を減らすためには、労働者や死亡に至る前に経緯するための防護や管理策の導入が必要だ。新技術や安全装置が必要な場合もある。要するに、誤りがあっても致命的な結果にならない余裕を設け、深刻な事態を回避するのである。実際、SIF予防は産業界全体の安全成果を大躍進させている。同時に、「安全」という概念そのものを再定義し、もう一つの革命も進んでいる。かつて安全とは、身体的な問題に限られ、勤務時間内の職場で起こるだけだを指していた。近年、安全の定義は広がり、働く人が職場で抱える心理社会的な要因やウェルビーイング、作業能力を損なう要因も含む。職場の安全に影響を及ぼすからである。NSCは、能力低下要因の定義を拡大、従来の薬物使用に「不眠症、疲労、ストレス、メンタルヘルスの問題」も、働く人がその日のベストな状態にいられていない原因をすべて含めていく。重要なのは、定義を拡大することで、これらの要因が人間的原因であることが認識し、管理者は非難ではなく思いやりと配慮をもって対応すべきという点だ。大層な勇気と耳に、今も心に残っている。フレックスの「OKでなくてもOK」。

命を救う職場安全が労働災害を削減



というシナリオかつ職場の言葉であった。職場は、働き方を変え入れる必要がある。私が冒頭で「安全分野が進化と再定義の時期にある」と書いたのは誇張ではない。革新への歩みは圧倒されるように感じ、一方で刺激的でもある。安全関係者の私をはじめ、政府関係者や専門家、誰もが新しい安全の波に合わせ、世界のグローバル企業が会員として名を連ねる。

大切なのは、私たち全員が、この取り組みに関心を持ち、安全の価値に情熱を抱いていること。NSCは可能限りの支援を提供する。ウェルビーイングには、安全店、働きの無料リソースが多数あり、リーダーシップを認める、欠勤や離職、医療費による数億ドルの損失を企業から守る。安全は単なる道義的義務ではなく、未来への健全な投資である。世界では毎日、数千人が労働災害で亡くなり、数百万人がウェルビーイングの問題に直面している。これらは「職場」の問題から切り離す余地はない。職場から社会全体に至るまで、安全の進化を推進し、命を救う取り組みに参加してほしい。